

第7回国際コンファレンス

アジアの成長と金融セクターの役割

セッションⅢ 「アジアの金融・資本市場と金融業の課題および成長戦略」

アジアの金融産業の育成に向けて

柏木 茂介

野村ホールディングス株式会社

執行役員 リスク・アドバイザー・グループ担当

概要

- 高成長が続くアジアでは、企業の資金需要やインフラ需要が拡大している。他方、高貯蓄率にも支えられ、金融資産の蓄積も進む。今後、両者を結びつけ、アジア域内で資金が円滑に循環する金融市場を整備していく必要がある。
- 現状、アジアの金融市場は間接金融が中心である。しかし、アジア経済は発展途上国段階から抜け出しつつあることを踏まえれば、市場型金融モデルの必要性が高まっているといえる。実際、政府による資本市場の育成に向けた積極的な取り組みも進められつつある。
- 今後、アジア資本市場のさらなる発展のためには、金融を「産業」として育てるという視点が不可欠である。金融産業はフロント部分のみならず、ミドル／バックオフィス機能があって初めて成立する。欧米の事例をみても、アジアの各地域が特徴を活かして金融機能を分担し、地域全体で金融のサプライ・チェーンを構築することが重要である。このことは他セクターにも好影響を与え、雇用創出、地域経済の発展にも繋がる。
- アジアの金融システム・市場の発展のためには、域内における健全な競争と規制調和のバランスをとることが重要である。また、具体的な対応策には、アジア地域内での協力を要するもの、及び各国において対応するものがある。これらには、ソフト及びハード両面でのインフラストラクチャーの整備やグローバルな金融規制改革議論への積極的な関与、一貫性・予見可能性のある規制・監督が含まれる。